

平成30年度 埼玉県公共事業景観形成指針 専門家アドバイス(案)【施工段階】

一般県道岩殿観音南戸守線(高坂駅南陸橋)

①基本設計段階のアドバイスへの対応

(1)擁壁や橋脚の圧迫感を軽減する方法を考える。

- ⇒ 補強土壁工法「スーパーテールアルメ」において、天然の石積みに見えるデザインを持ったコンクリートパネルを採用することで、無機質な圧迫感を低減した。
また、平面ではなく凹凸や模様を加わったことにより、雨垂れが目立ちにくくなった。

(2)高欄上の付属物の取付け方を工夫する。

- ⇒ 高欄上のパネルの支柱に曲線を持たせることで、通行者への圧迫感を減らすとともに、壁高欄との一体性を増すように工夫した。
また、鳥の衝突の発生を受け、その防止策として、また、近隣にある埼玉県こども動物自然公園の来園者を意識して、動物等の図柄のステッカーを貼った。



②完成した事業の評価 及び 今後に向けたアドバイス

(1)陸橋と道路の景観的な連続性について

- ・既存の道路と新しく建設する陸橋との景観的な連続性をより意識することが望ましい。

(2)陸橋側面及び壁高欄について

- ・スーパーテールアルメ工法を採用したことにより、汚れが目立ちにくくなっていた。
- ・反面、下部が綺麗なのに対し、上部のコンクリート部分の汚れが相対的に目立った。
- ・壁高欄の天端の水勾配を工夫してもらいたい。
- ・下部と上部でデザインに連続性を持たせることが望ましい。

(3)手すり及び防護柵について

- ・既存部分と新設橋梁部分とで柵に連続性をもたせると良い。
- ・陸橋の東側と西側でそれぞれ縦柵、横柵となっているのも、どちらかに統一させると良い。

